

## 【指導者資格について】

1. 普及委員会が行っている水泳指導員や水泳コーチの養成講習には下記の資格があります。

①公益財団法人日本水泳連盟 基礎水泳指導員

②公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者 水泳コーチ1・水泳コーチ2

この資格を取得するには、以下のそれぞれの講習を修了し、検定試験に合格することで資格を取得することができます。

①公益財団法人日本水泳連盟 基礎水泳指導員

受講・受験の資格

(1) 検定試験当日に満 18 歳以上の者。

(高等学校における最終学年の生徒は 17 歳も認めるが、登録は満 18 歳に至るまで保留するものとする。)

(2) 受験しようとする者は、講習会の全てに出席し、所定の学科、実習及び在宅課題学習を履修しなければならない。

学科

「水泳の歴史 1 時間」「水泳の科学 3 時間」「水泳指導者・初心者指導法 2 時間」「水泳プールにおける安全 2 時間」の集合講習 8 時間及び「在宅課題学習 1 時間」

実技

「基礎技術 3 時間」「指導実習 5 時間」の集合講習 8 時間及び「課題学習水泳実技 7 時間」

合計:24時間(集合6科目 16 時間、課題学習 8 時間)

検定試験

学科 「水泳指導者・初心者指導法」「水泳プールにおける安全」「水泳の科学」の 3 科目  
各科目 60 点以上を合格とする。

実技 100m 個人メドレー 男子 1 分 40 秒以内、女子 1 分 50 秒以内で合格とする。

※36 歳以上の場合、1 歳につき 1 秒加算する。

②公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者

(1) 水泳コーチ 1

公益財団法人日本水泳連盟基礎水泳指導員(コーチ 1 の専門科目となる)と共通科目 I (45 時間)を修了することによりコーチ 1 を取得できる。

公益財団法人日本スポーツ協会 HP「指導者マイページ利用マニュアル」を参照してください。

(2) 水泳コーチ 2

受講年度の 4 月 1 日現在満 25 歳以上で、コーチ 1 資格取得後 2 年以上の経験を有する者。

共通科目 II(135 時間)と専門科目 (40 時間)に合格することでコーチ 2 を取得できる。

2. 基礎水泳指導員、コーチ 1・コーチ 2 の資格有効期限について

有効期限 4 年間です。有効期限内に義務付けられた更新研修会を受講し、修了しなければ更新の手続きができません。また、資格が喪失してしまいますのでご注意ください。

①普及委員会では、年度によって年間 2~3 回の更新研修会を実施しています。ご自分の都合の良い日程で受講してください。

②基礎水泳指導員の方で更新研修会受講済み場合、県水連より更新の手続き案内が郵送されます。

③コーチ 1・コーチ 2の方で更新研修会を受講済みの場合、公益財団法人日本スポーツ協会より更新の手続き案内が郵送されます。